

モンゴル経済概況

(2019年1～6月)

2019年9月

日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部 中国北アジア課

【免責条項】

本資料で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本資料で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

禁無断転載

目次

1. モンゴルの基礎データ
2. 最近の政治経済動向
3. GDP成長率の推移
4. 貿易の推移
5. 名目鉱工業生産の推移
6. 貨物輸送量
7. 物価(CPI)
8. 歳入・歳出の推移
9. 貸出残高
10. M2の推移
11. 対ドル・対円の為替レート
12. 外貨準備高
13. 主要輸出入品目
14. 主要輸出相手国
15. 主要輸入相手国
16. 主要国・地域別直接投資額
17. 主要国・地域別投資企業数
18. 主要業種別投資企業数
19. モンゴル企業の動向事例
20. 日本からの直接投資
21. 日本との貿易概況

1. モンゴルの基礎データ

国名：モンゴル国

面積：156万6,600平方キロメートル

人口：323万9,500人(2018年末現在)

首都：ウランバートル

民族：モンゴル人（全体の95%）およびカザフ人等

言語：モンゴル語（公用語）、カザフ語

宗教：チベット仏教等（1992年2月の新憲法は信教の自由を保障）

政体：共和制（大統領制と議院内閣制の併用）

行政区分：21県と1特別行政区

通貨：トゥグルク（100トゥグルク=約4.07円）

（2019年7月31日現在）

2.最近の政治経済動向

世界銀行がモンゴルに対する1億ドルの融資を承認

世界銀行(世銀)のプレスリリースによると、世銀の理事会は7月30日、モンゴル経済の安定と持続可能な発展のため、モンゴルに対する1億ドルの融資を承認した。

同融資は、モンゴルの①債務の持続可能性の回復、②社会保障制度の強化、③経済競争力向上を目的とした「財政管理支援プログラム」の枠内で行われるもので、今回が2017年11月の第1回融資(1億2,000万ドル)に続く2回目の融資となる。

①の債務持続可能性の回復には、税制と公共投資管理の改善、進行中の投資プロジェクトのコスト削減の支援、国家予算特別会計の管理強化の他、モンゴル開発銀行およびモンゴル銀行の業務に関する最近の外部レビューの公開、住宅ローンプログラムの再構築が含まれる。

②では、鉱業以外のセクターの雇用創出と社会政策の改善により、貧困層など社会的弱者の保護制度を強化し、③では、経済競争力向上のため、投資家保護の強化、許認可要件の合理化、貿易円滑化など、ビジネス・貿易環境を改善する他、家畜の健康管理の改善により畜産を育成し、経済の多様化を支援する。

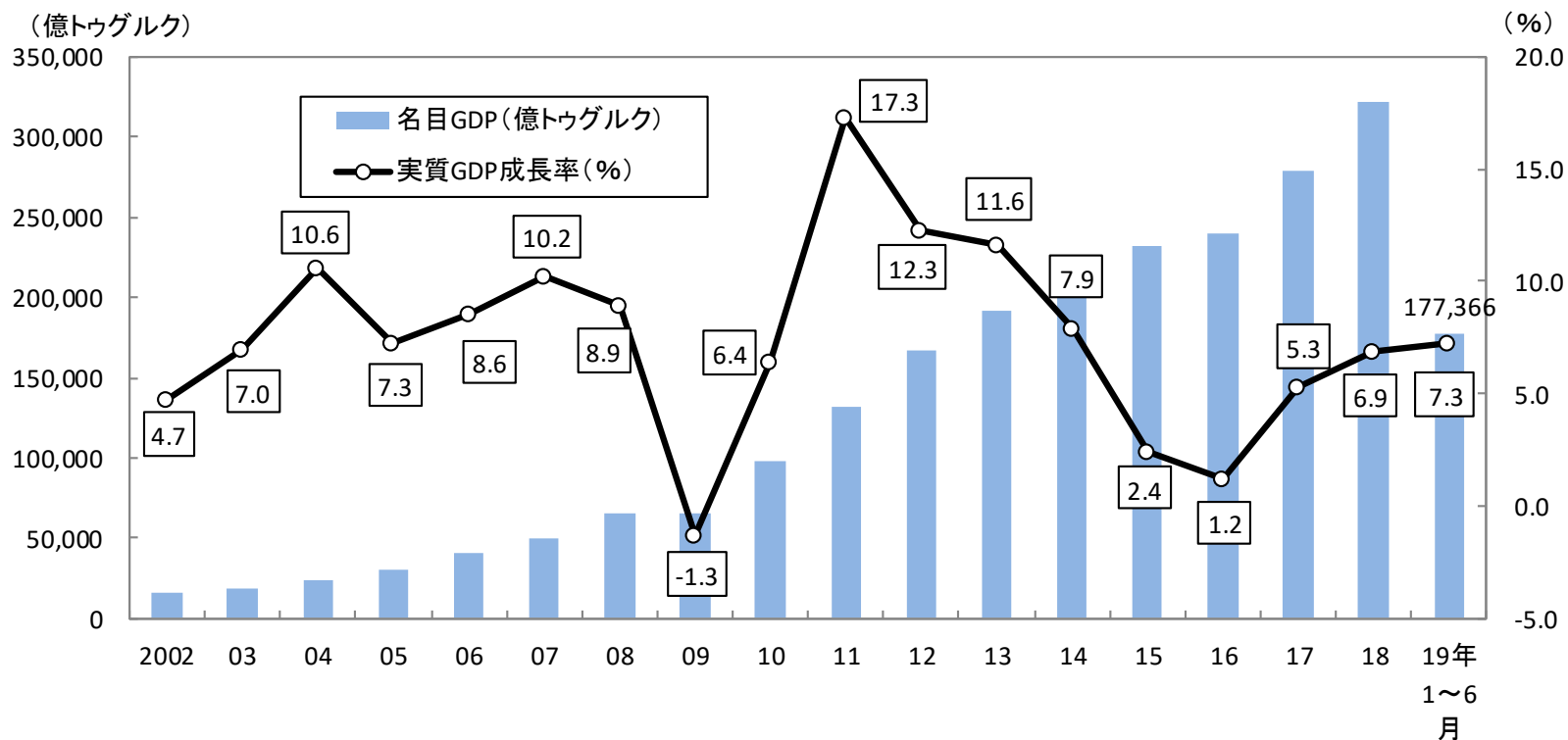
なお、第3回の融資は、IMFのプログラムの枠内で実施中の商業銀行の自己資本増強の完了後に行われる予定である。

(出所: [世界銀行ホームページ](#))

3.GDP成長率の推移

モンゴルの2019年1～6月における実質GDP成長率は前年同期比7.3%で、前年同期(6.6%)より0.7ポイント上昇した。

名目GDPは前年同期比14.9%増の17兆7,366億トゥグルクだった。国家統計局は経済成長率が回復した背景として、サービス業(特に卸売・小売業)、製造業、建設業の好調を挙げた。



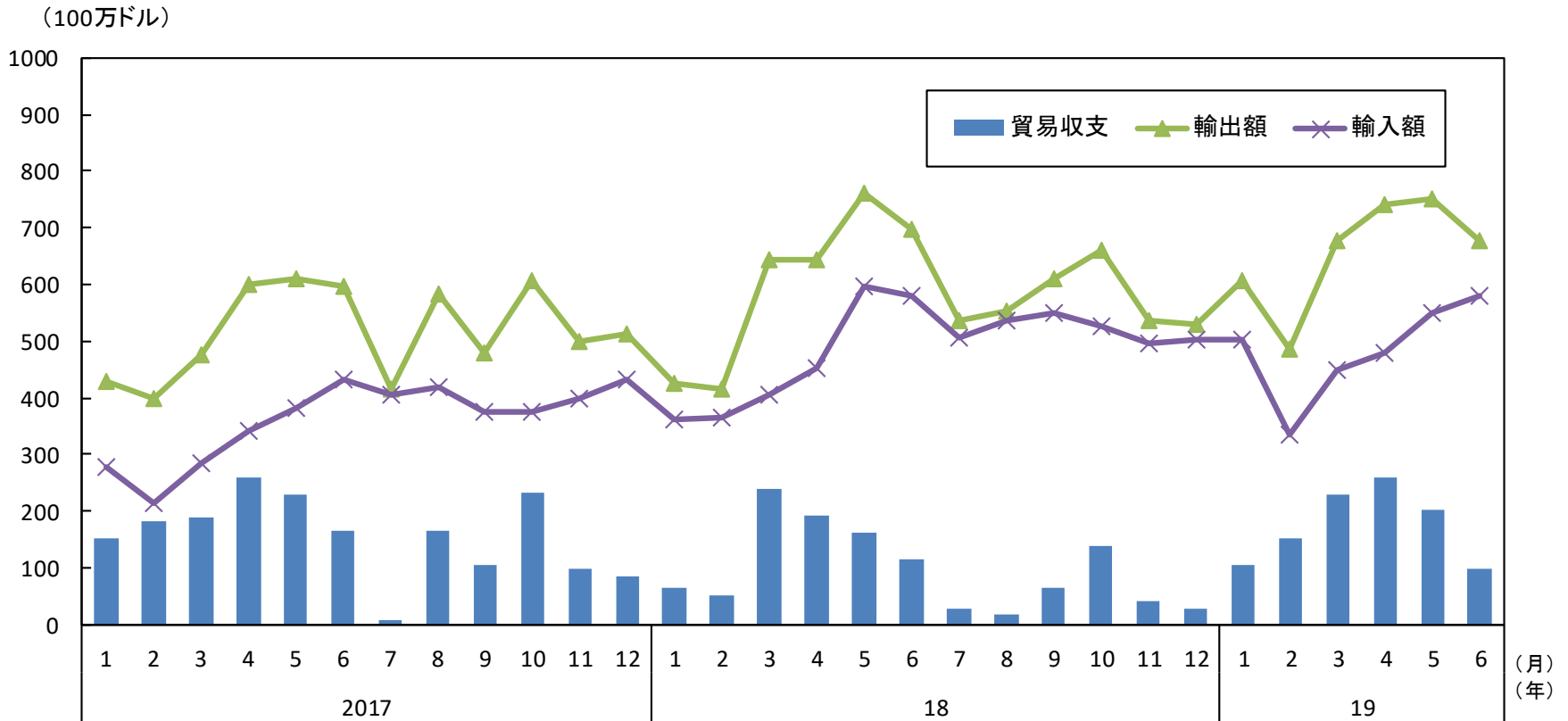
注: 2017年は暫定値、2018年、2019年は速報値

出所: 国家統計局

Copyright (C) 2019 JETRO. All rights reserved.

4.貿易の推移

2019年1～6月における貿易総額は、前年同期比7.8%増の68.3億ドルに達した。貿易総額のうち、輸出額は10.0%増の39.4億ドル、輸入額は4.9%増の28.9億ドルとなった。



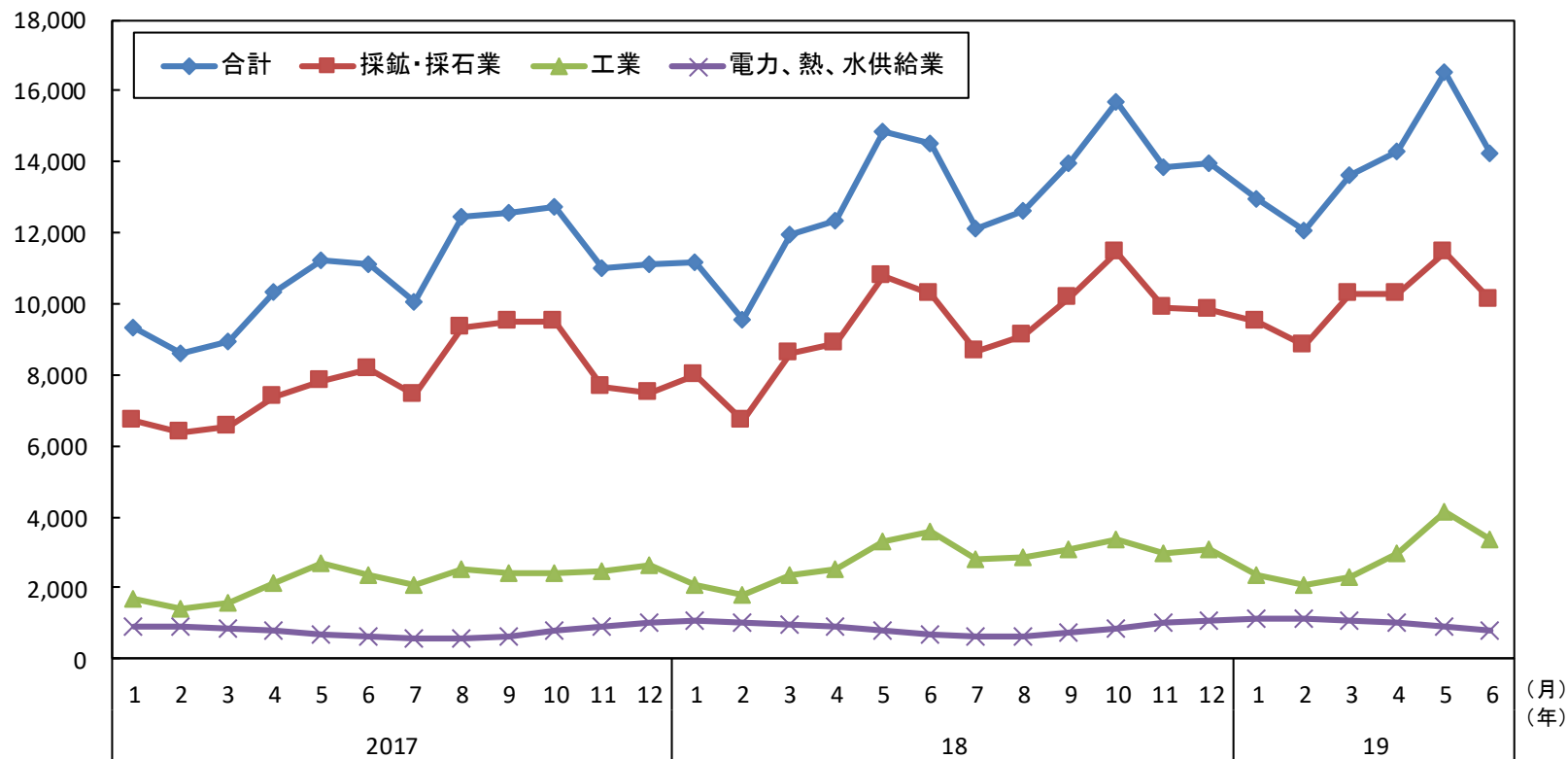
出所: 国家統計局

注: 2018年,2019年は速報値

5. 名目鉱工業生産の推移

2019年1～6月における鉱工業生産額は、前年同期比12.6%増の8兆3,774億トウグルクとなった。採鉱・採石業の生産額が13.6%増と増加し、特に石炭の生産額が35.1%増と大幅増となったことが主な要因である。

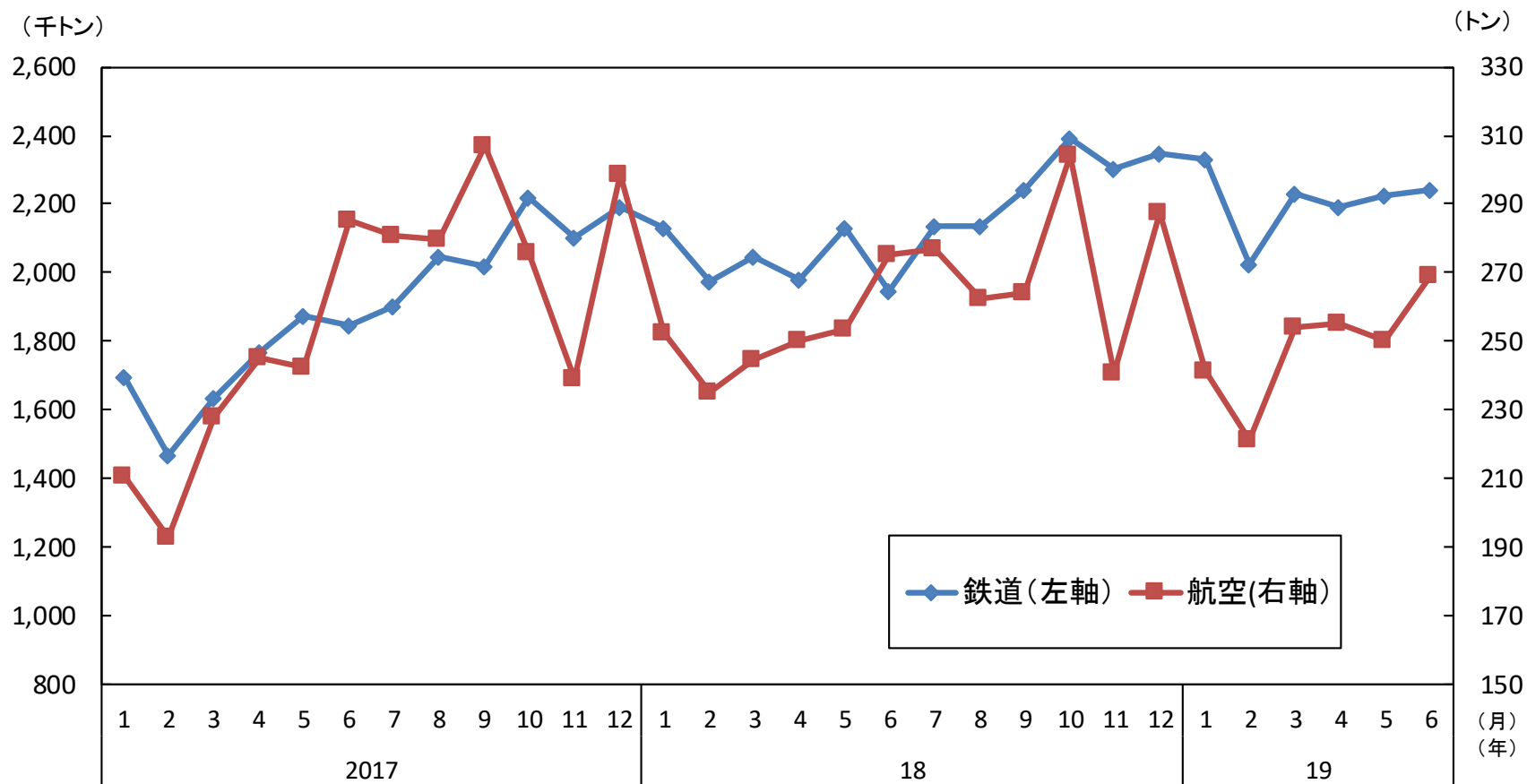
(億トウグルク)



出所：国家統計局
2018年,2019年は速報値

6.貨物輸送量

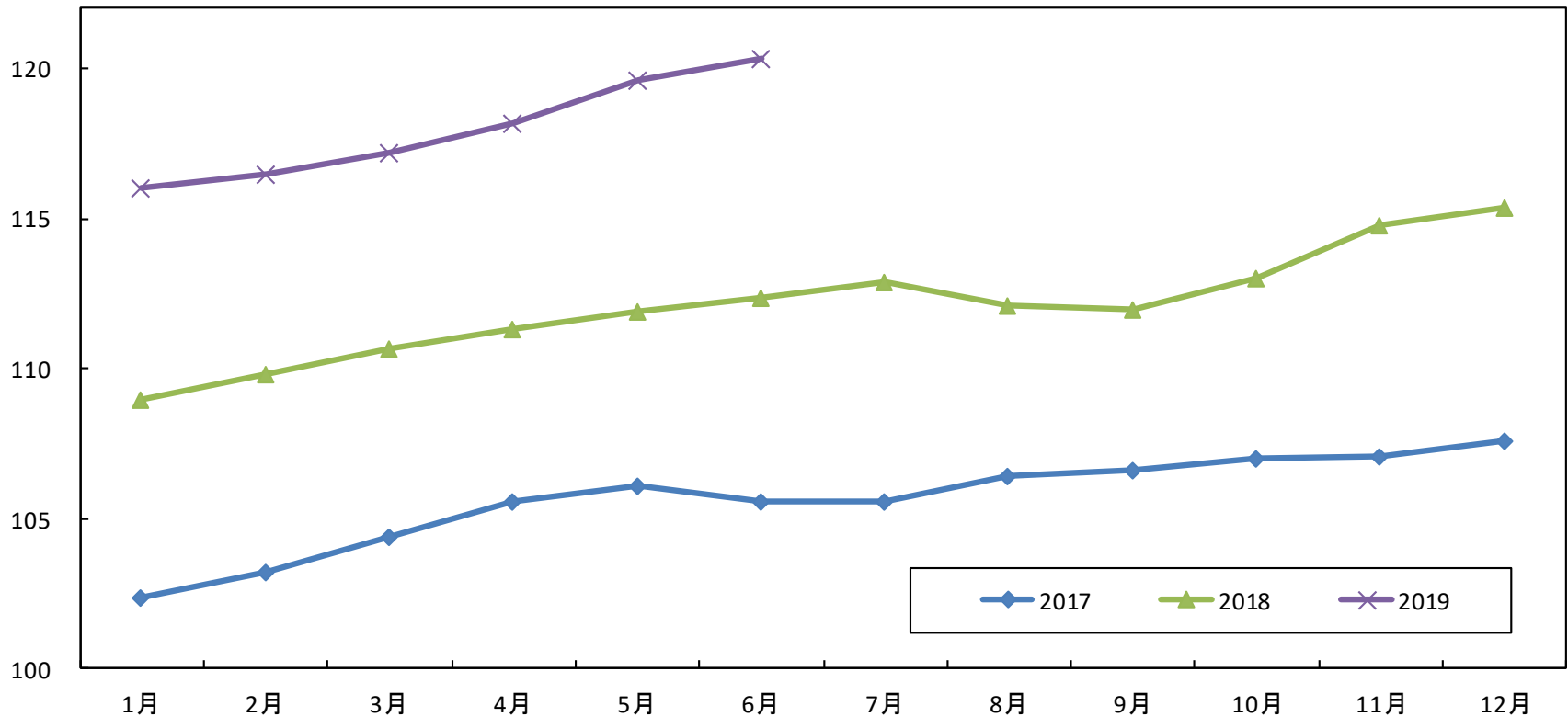
2019年1～6月における鉄道貨物輸送量は、前年同期比8.5%増の1,324万トン、航空貨物輸送量は、1.4%減の1,490トンだった。



7.物価(CPI)

2019年6月のCPI(全国)は前月比で0.7%、前年同月比で8.1%上昇した。上昇の主な要因は食品・飲料(前年同月比10.8%)、住居・光熱水道・燃料(8.8%)、医療(8.6%)、交通(4.8%)、酒類・タバコ(3.8%)の価格上昇であった。

(%)

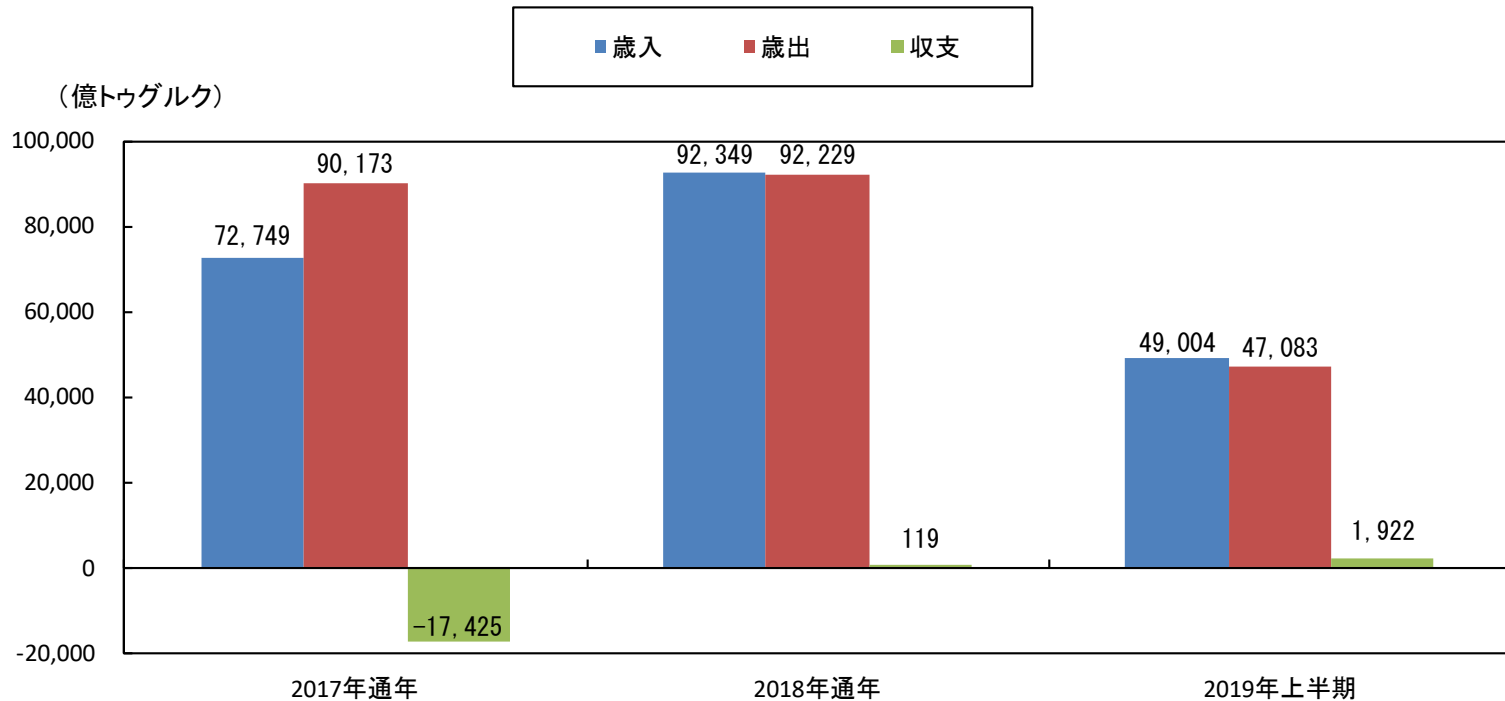


出所: 国家統計局

注: 2015年末を100%とする指数

8.歳入・歳出の推移

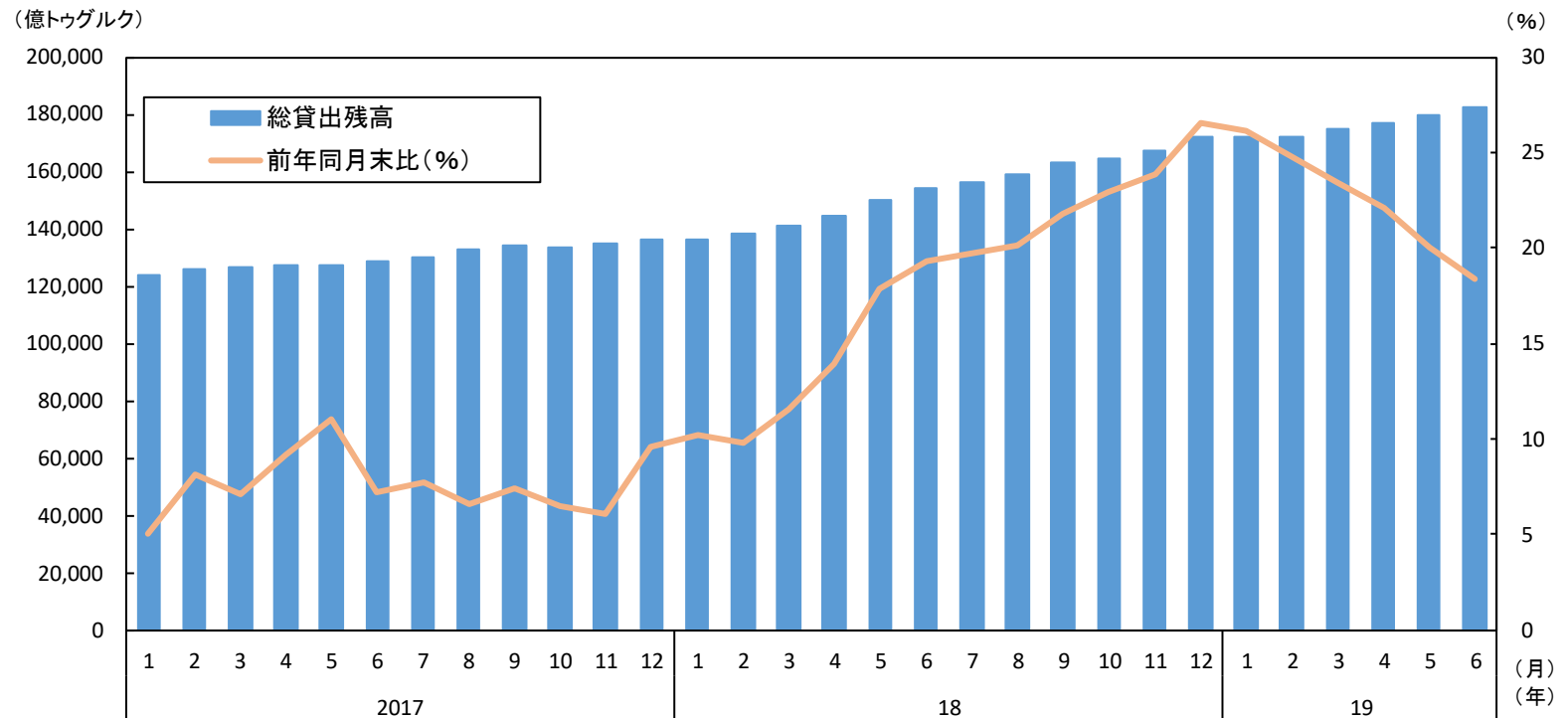
2019年上半期における政府の歳入は4兆9,004億トウグルク、歳出は4兆7,083億トウグルクとなった。財政収支は、1,922億トウグルクの黒字となった。



出所: 国家統計局
注: 2019年は速報値

9.貸出残高

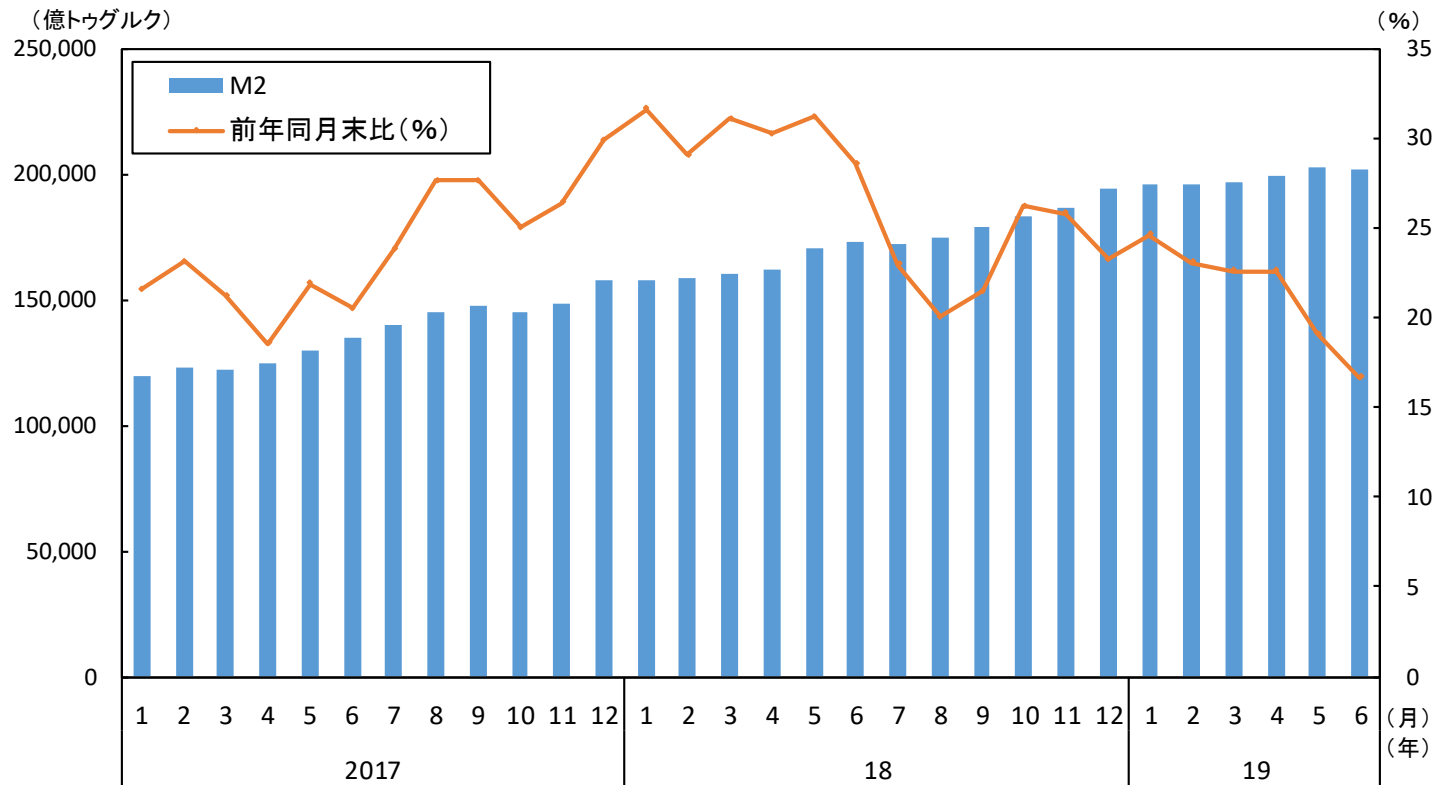
2019年6月末時点の総貸出残高は、前年同月末比18.3%増の18兆2,200億トウグルクだった。



出所: モンゴル銀行

10.M2の推移

2019年6月末のマネーサプライ(M2)は、前年同月末比16.6%増の20兆2,294億トウグルクだった。

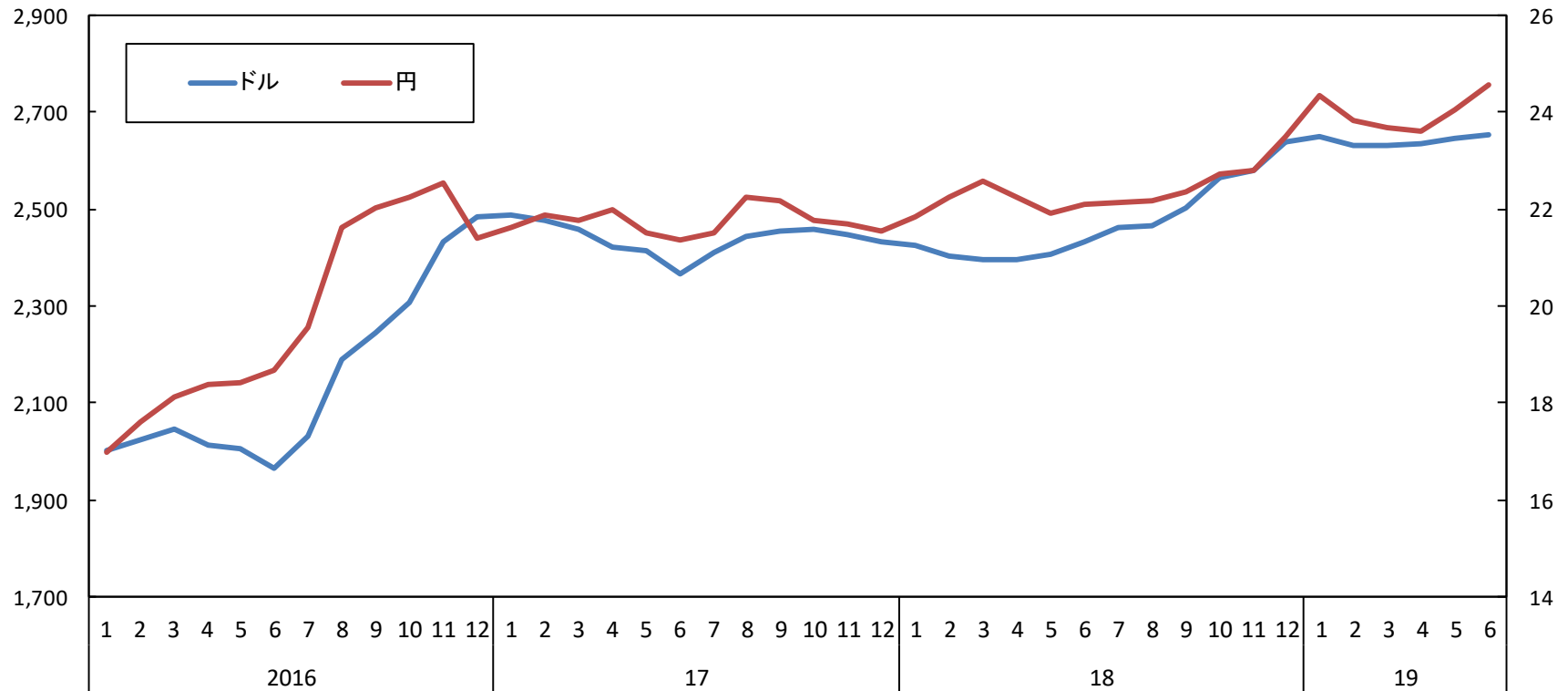


11. 対ドル・対円の為替レート

2019年6月は前月比で対円、対ドル共にトゥグルク安となり、1円24.6トゥグルク、1ドル2,654トゥグルクだった。

(トゥグルク/ドル)

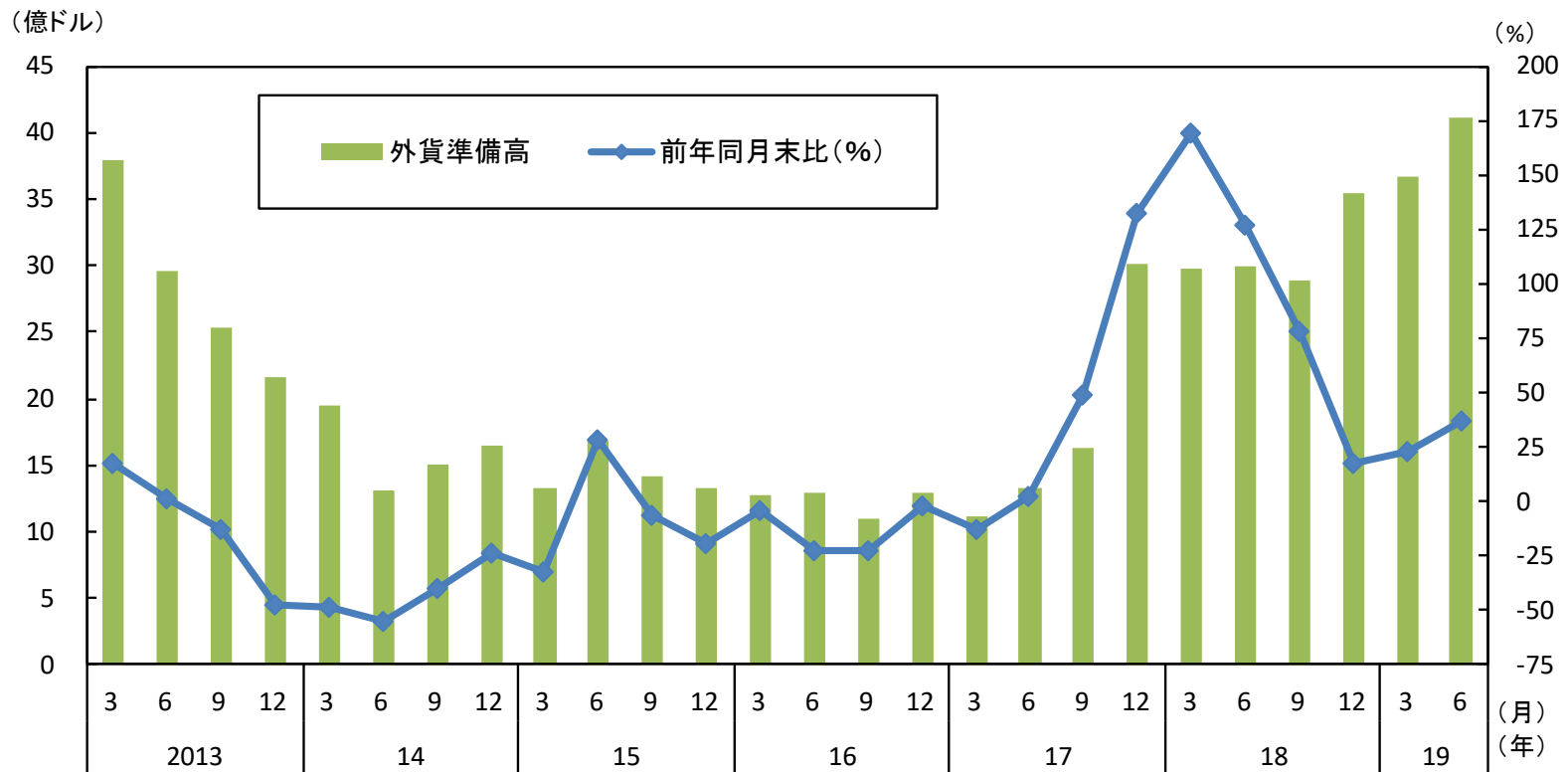
(トゥグルク/円)



出所: モンゴル銀行

12.外貨準備高

2019年第2四半期末時点におけるグロス外貨準備高は、前年同月末比37.2%増の41億100万ドルとなった。



出所：モンゴル銀行

13.主要輸出入品目

2019年1～6月の主要輸出品目のうち、石炭が前年同期比9.2%増加した。
輸入品目では、自動車およびその部品の輸入額が22.0%増加した。

(単位:100万ドル)

品目	2017年1～6月	2018年1～6月	2019年1～6月	前年同期比(%)
輸出	3,105.8	3,581.4	3,939.0	10.0
鋳物	2,554.9	3,027.0	3,307.5	9.3
石炭	1,282.4	1,412.8	1,543.5	9.2
卑金属およびその製品	49.6	49.8	31.6	△ 36.4
皮革および毛皮並びにこれらの製品	14.8	11.4	9.6	△ 15.7
生地およびその製品	208.8	242.8	271.6	11.9
石、人造石、貴金属および宝石	180.6	144.9	196.3	35.5
輸入	1,924.5	2,759.1	2,893.8	4.9
食料品	166.4	199.0	202.1	1.5
鋳物	438.2	591.1	621.9	5.2
ガソリン	113.0	126.0	148.9	18.1
ディーゼル	193.8	253.1	315.4	24.6
卑金属およびその製品	138.0	265.9	267.1	0.5
自動車およびその部品	291.9	481.4	587.3	22.0
機械器具、電気製品	400.5	577.3	583.4	1.1

2019年1～6月は速報値

出所: 国家統計局

14. 主要輸出相手国

2019年1～6月における主要輸出相手国のうち、輸出金額で1位の中国は前年同期比7.6%増、構成比は90.5%(2.0ポイント低下)となった。

国名	2017年1～6月		2018年1～6月		2019年1～6月		
	金額(千ドル)	構成比(%)	金額(千ドル)	構成比(%)	金額(千ドル)	伸び率(%)	構成比(%)
合計	3,105,778.5	100.0	3,581,380.6	100.0	3,939,001.2	10.0	100.0
中国	2,803,611.3	90.3	3,314,114.8	92.5	3,566,531.0	7.6	90.5
英国	220,245.8	7.1	155,973.7	4.4	218,045.6	39.8	5.5
ロシア	27,138.5	0.9	40,388.2	1.1	36,612.4	△ 9.3	0.9
オーストラリア	87.1	0.0	1,119.1	0.0	21,039.5	1,780.0	0.5
米国	3,263.5	0.1	2,621.9	0.1	19,856.7	657.3	0.5
シンガポール	9,139.0	0.3	13,172.5	0.4	17,248.1	30.9	0.4
イタリア	17,403.5	0.6	17,666.7	0.5	15,952.4	△ 9.7	0.4
韓国	2,119.5	0.1	4,760.9	0.1	8,988.0	88.8	0.2
日本	4,652.3	0.1	6,131.6	0.2	5,048.2	△ 17.7	0.1
ドイツ	5,727.6	0.2	6,910.9	0.2	4,696.9	△ 32.0	0.1
ベトナム	268.9	0.0	2,721.0	0.1	4,664.0	71.4	0.1
タイ	568.0	0.0	380.0	0.0	3,995.3	951.4	0.1
その他	12,121.5	0.4	15,799.2	0.4	20,318.3	28.6	0.5

注: 2019年1～6月は速報値

出所: 国家統計局

15.主要輸入相手国

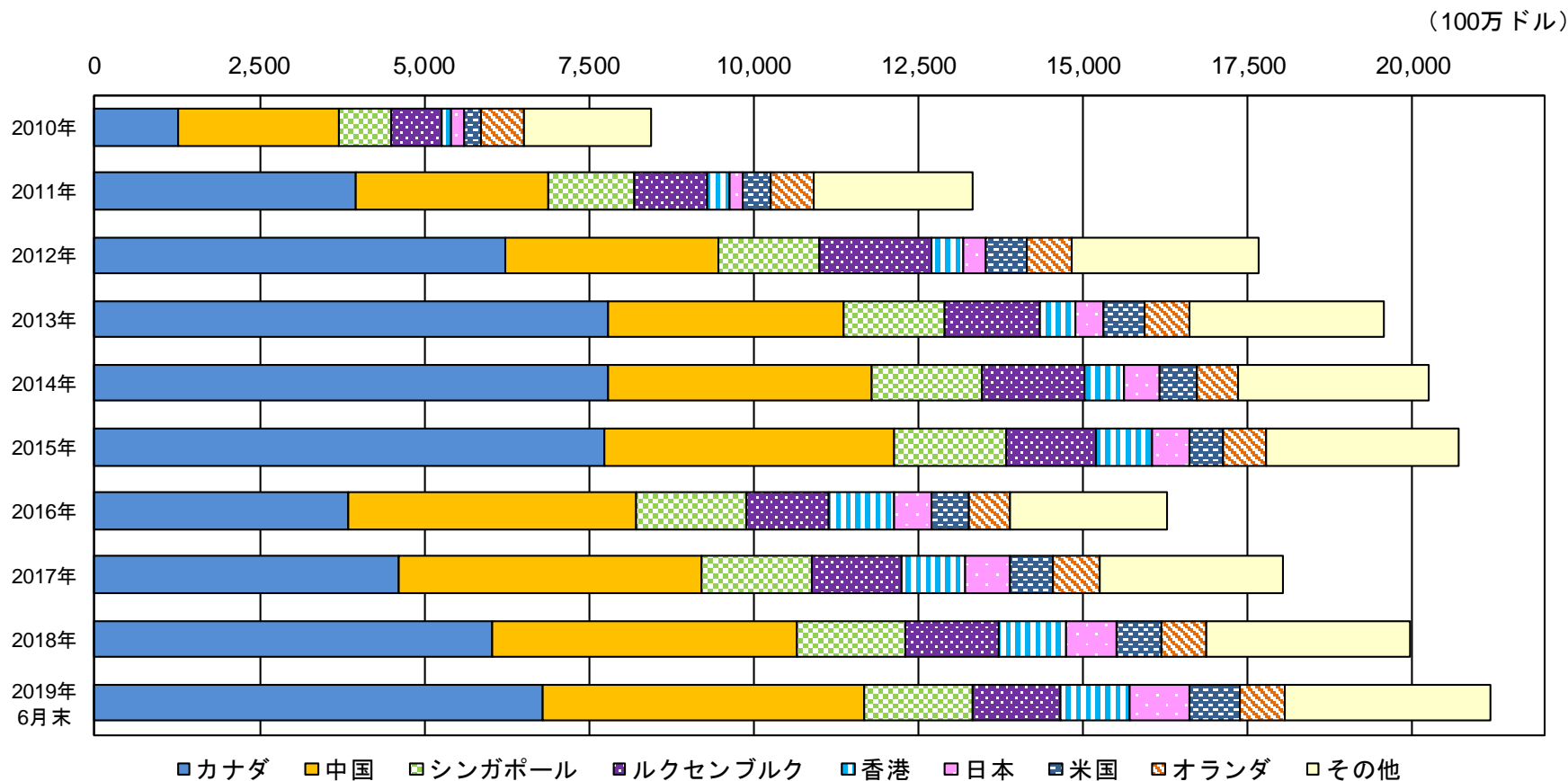
2019年1～6月における輸入総額は前年同期比4.9%増加した。主要輸入相手15カ国のうち、第1位の中国と第2位のロシアで約6割を占める。日本は第3位で約1割を占める。

国名	2017年1～6月		2018年1～6月		2019年1～6月		
	金額(千ドル)	構成比(%)	金額(千ドル)	構成比(%)	金額(千ドル)	伸び率(%)	構成比(%)
合計	1,924,526.9	100.0	2,759,141.3	100.0	2,893,794.2	4.9	100.0
中国	606,675.0	31.5	961,269.5	34.8	931,834.1	△ 3.1	32.2
ロシア	532,184.4	27.7	818,366.4	29.7	768,591.4	△ 6.1	26.6
日本	195,933.4	10.2	258,073.2	9.4	311,367.4	20.7	10.8
米国	99,781.0	5.2	92,155.9	3.3	178,745.6	94.0	6.2
韓国	92,040.8	4.8	117,021.5	4.2	131,842.1	12.7	4.6
ドイツ	58,341.6	3.0	74,523.1	2.7	87,582.2	17.5	3.0
ブラジル	3,452.5	0.2	6,654.4	0.2	29,976.7	350.5	1.0
ポーランド	22,499.3	1.2	22,544.9	0.8	28,305.7	25.6	1.0
ベトナム	17,625.2	0.9	22,336.2	0.8	27,180.7	21.7	0.9
豪州	14,996.6	0.8	19,747.3	0.7	27,087.6	37.2	0.9
マレーシア	17,306.4	0.9	22,329.9	0.8	23,565.2	5.5	0.8
スウェーデン	13,701.7	0.7	17,821.8	0.6	23,026.2	29.2	0.8
カナダ	6,940.3	0.4	21,173.6	0.8	22,892.8	8.1	0.8
イタリア	21,918.4	1.1	25,411.4	0.9	22,205.0	△ 12.6	0.8
フランス	10,722.4	0.6	14,788.9	0.5	20,791.4	40.6	0.7
その他	210,407.9	10.9	264,923.3	9.6	258,800.3	△ 2.3	8.9

注: 2019年1～6月は速報値
出所: 国家統計局

16.主要国・地域別直接投資額

2019年6月末の直接投資額(累計)は、212億ドルとなった。主要国別ではカナダ、中国、シンガポール、ルクセンブルク、香港の5カ国・地域からの直接投資が157億ドルで全体の74%を占めた。



出所：モンゴル銀行

17.主要国・地域別投資企業数

国家開発庁によると、2018年6月現在の主要国・地域別の直接投資企業数は、合計1万4,490社。このうち、中国が7,272社、全体の約5割を占めて最大。次いで韓国(2,464社)、ロシア(889社)、日本(625社)、米国(329社)等の順となっている。

なお、外務省が実施している海外在留邦人数調査統計(平成30年版(2017年10月))によると、日本企業の支店開設数:支店1社、駐在員事務所56社、現地法人化した企業等数:448社であった。

18.主要業種別投資企業数

国家開発庁によると、2018年6月現在、主要業種別の直接投資企業数の構成は、貿易・レストランが9,786社で全体の3分の2を占める。このほか、鉱業(453社)、エンジニア施設・建築材料生産(451社)、観光(421社)、輸送(243社)、軽工業(210社)、食料品生産(208社)、家畜産業の原料加工業(170社)、農業(170社)、情報通信(131社)等となっている。

19. モンゴル企業の動向事例

貨物専用機を導入し、中国、ロシアへの輸送を拡大

会社名: トーシングループ(子会社のMongolian Airways Cargo)

事業内容: 国際物流、通関、ホテル

設立: 1990年6月

モンゴルの国際物流最大手のトーシン社が国際航空貨物輸送の子会社Mongolian Airways Cargo (MAC)を設立。貨物専用機B737-300型機を導入し、7月20日に1号機が納入された。

MACによると、モンゴルはロシア、中国へ高頻度で貨物便を乗り入れる権利を持っていたが、今まで貨物専用機が無かったために十分活用できていなかった。今後はロシア、中国へ貨物専用機を頻繁に乗り入れさせることが可能になる。

貨物機は最大積載量20トン、航続距離は5,250kmで、これまで旅客機の貨物室では運べなかったサイズの貨物も輸送可能になる。

MACによると、今後同社は東京、北京、上海、広州、フフホト、香港、ソウル、モスクワ、イルクーツク、ウランウデの他、中央アジアの各都市へ貨物便を就航させる予定である。

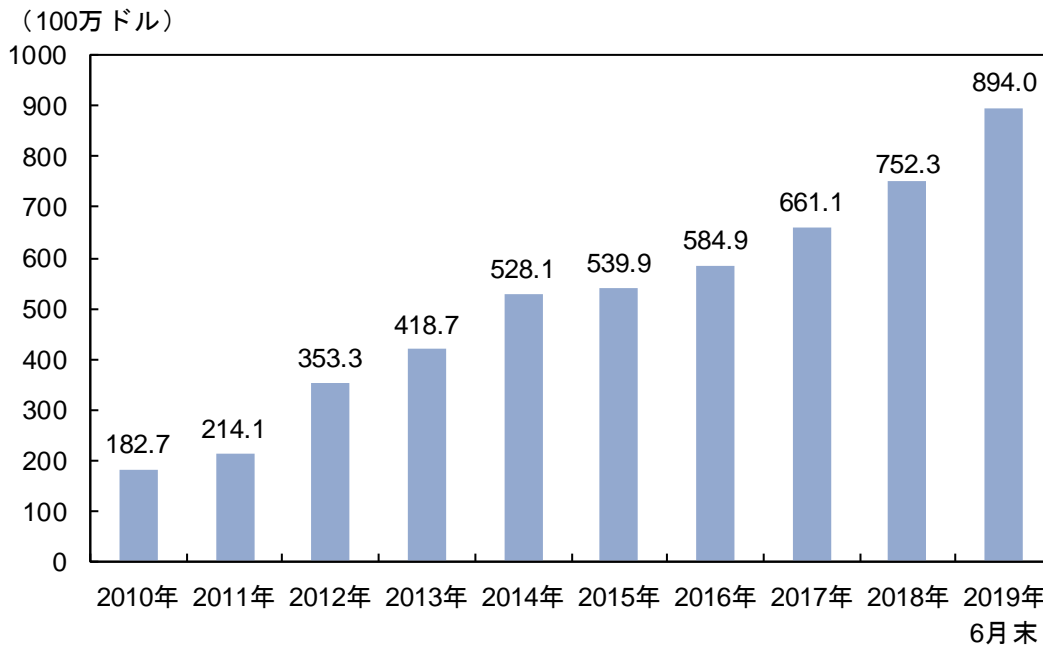
また、同社は近い将来に航空物流ターミナルを構築し、国際宅配便および航空貨物の総合物流サービスを国際基準で提供することを目指している。

出所: [トーシン社ウェブサイト](#)

20.日本からの直接投資

2019年6末における日本からの直接投資額(累計)は、8億9,399万ドルとなった。日本からの主要企業は、通信、銀行、製造、鉱業、鉱山機械・建設機械の販売、建設やエネルギーなどの分野となっている。

主要投資企業名(順不同)



出所：モンゴル銀行

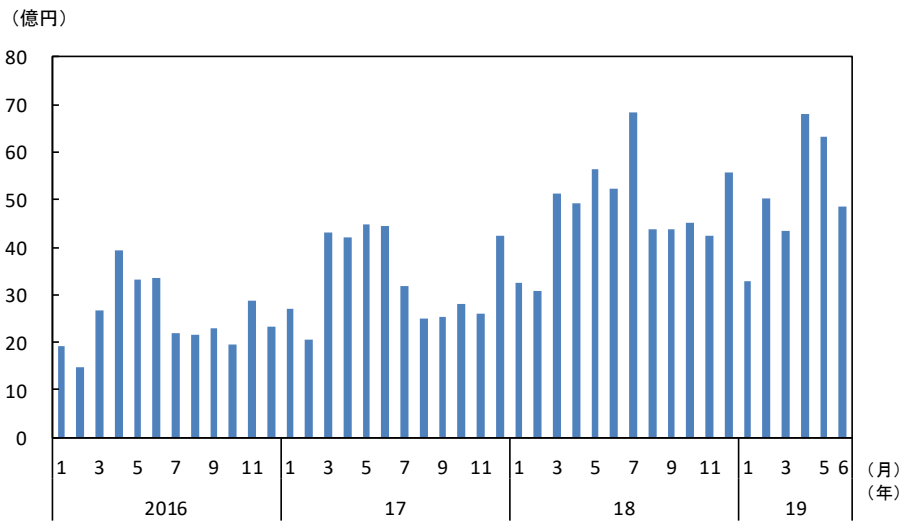
大日本土木	松坂屋建材
伊藤忠商事	日本工営
鴻池組	シスメックス
丸紅	TDB Leasing
住友商事	三井住友銀行
UNIGAS	三菱UFJ銀行
三井物産	加藤運輸
MobiCom	KR
双日	トヨタ自動車
フロンティア証券	FUSION CONSULTING
賛光精機	アポロビルディングサービス
三菱商事	大正法律事務所
東海運	東横イン
会沢高圧コンクリート	TOYOTA SALES MONGOLIA
HIS	ウーノアクティブ
岩田地崎建設	JT
原口総合法律事務所	摂津倉庫
Monnichi Today	エイト森
メガテック	電通データアーティスト
ユニメディア	Cominix

出所：[モンゴル日本商工会](#)

21. 日本との貿易概況

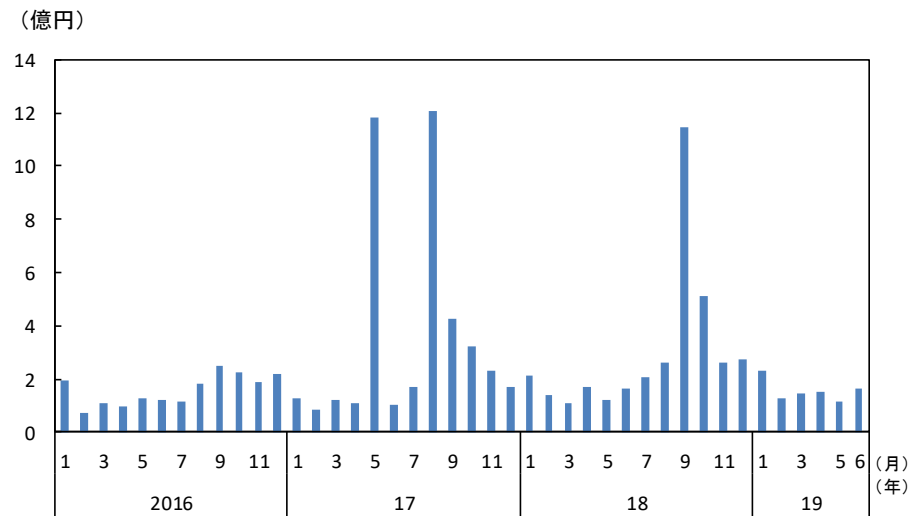
貿易額について日本側の統計をみると、2019年1～6月における日本の対モンゴル輸出は前年同期比12.5%増の306億円、日本の対モンゴル輸入は1.8%増の9億円となった。

日本の対モンゴル輸出



出所:財務省貿易統計(日本)

日本の対モンゴル輸入



出所:財務省貿易統計(日本)

レポートをご覧いただいた後、アンケート(所要時間:約1分)にご協力ください。

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/ora2/20190013>

本レポートに関する問い合わせ先：
日本貿易振興機構（ジェトロ）
海外調査部 中国北アジア課

〒107-6006 東京都港区赤坂1-12-32
TEL : 03-3582-5181
E-mail : ORG@jetro.go.jp

禁無断転載